

# 全町会・自治会実態調査 報告書 概要版

## I 実施概要

### 1 目的

全町会・自治会に対し、区内の町会等の現状・課題を詳細に調査し、地域コミュニティの持続的な活性化のために活用する。

### 2 調査期間

令和3年10月8日（金）〔調査票郵送〕から11月19日（金）まで

※ 調査期間中に適宜地域担当員より、各町会長等への聴き取り調査を実施

### 3 調査対象及び回収状況

170 町会・自治会配布：回収率 100.0%（うちインターネット回答 7 団体）

### 4 実施スケジュール

令和3年

10月 1日（金）	全町会長・自治会長あてに事前案内の書面送付
10月 7日（木）	地域担当員への調査説明
10月 8日（金）	町会等への調査票配布（郵送） ※ 調査期間中に各町会長等への聴き取り調査を実施
11月19日（金）	調査票回答締切
12月中旬まで	未回収町会・自治会への回答協力依頼
12月から1月上旬	集計・分析
2月上旬	集計結果まとめ、中間報告
3月下旬	報告書作成
3月下旬～	報告書の報告等（区議会、区のお知らせ、区ホームページ等） 各町会・自治会へ配布

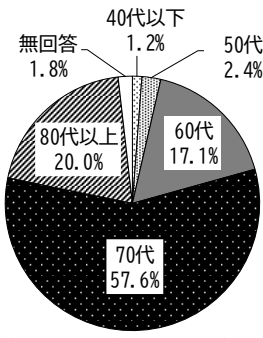
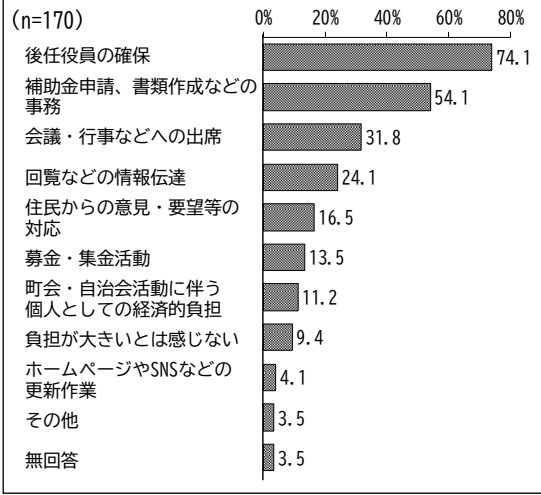
### 5 その他

今後も調査を続け、経年変化を追っていくが、調査時期については当初3年に1度程度としていたものを5年に1度程度として実施していく。

【考え方】 前回調査の結果との比較において、新型コロナによる影響やデジタル化への取組等といった社会状況に応じた新たな課題が確認できたものの、人材不足や役員の高齢化など従前から指摘されている運営上の大きな課題が引き続きあることや活動の実態に際立った変化が確認されていない。また各町会・自治会の負担軽減に配慮する必要がある。

## II 調査結果概要

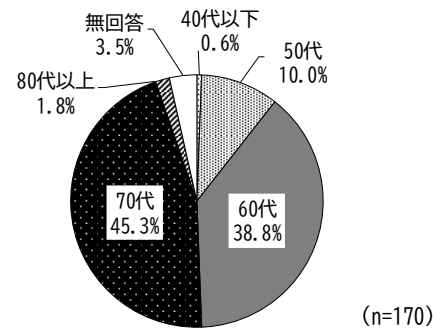
注) 表中の「割合」は、特に注記のない場合、回答件数が区内町会・自治会数（170団体）のうち何%を占めるか（何%の町会・自治会がそのように回答したか）を示したもの。  
また、各設問の結果概要として上位3項目について掲載している。

■ 貴町会・自治会の「会長・役員」について ■	
Q1 会長についてお伺いします。	
①年代 ・「70代」 57.6% ・「80代以上」 20.0% ・「60代」 17.1% <b>※会長の年代が「70代以上」の団体が77.6%</b>	
②職業 ・「自営業（製造業等と商業・サービス業の合計）」 38.2% ・「無職」 30.0% ・「会社役員・団体役員」 18.8%	
③会長の職以外に務めている役職 ・「神社・祭礼関係の委員」 51.8% ・「小中学校関係の委員」 41.2% ・「防火防災協会委員」 18.8%(同率) ・「警察関係の委員」 18.8%(同率) ・「まちづくり協議会委員」 18.8%(同率)	
④会長を務めて特に負担が大きいと感じること ・「後任役員の確保」 74.1% ・「補助金申請、書類作成などの事務」 54.1% ・「会議・行事などへの出席」 31.8%	
Q2 役員についてお伺いします。	
①役員の数 ・「10～20人未満」 32.4% ・「30人以上」 28.8% ・「20～30人未満」 25.9% <b>※「20人以上」の役員で運営されている団体は54.7%</b>	

②最も人数が多いと思う年代

- ・「70代」 45.3%
- ・「60代」 38.8%
- ・「50代」 10.0%

※最も多い年代は「70代以上」と回答した団体は 47.1%



③多いと思う役員の職業

- ・「自営業（製造業等と商業・サービス業の合計）」 75.3%
- ・「会社員・公務員」 43.5%
- ・「無職」 37.6%

④役員の中の女性の人数

- ・「4～5人」 22.9%
- ・「10人以上」 19.4%
- ・「6～9人」 18.2%

※「5人以下」と回答した団体は 58.8%

⑤役員の中の50歳代以下の人数

- ・「いない」 21.8%
- ・「2人」 17.1%
- ・「4～5人」 14.1%

※「3人以下」と回答した団体は 62.9%

■貴町会・自治会の「活動」について■

Q3 会費（年間）はいくらですか。

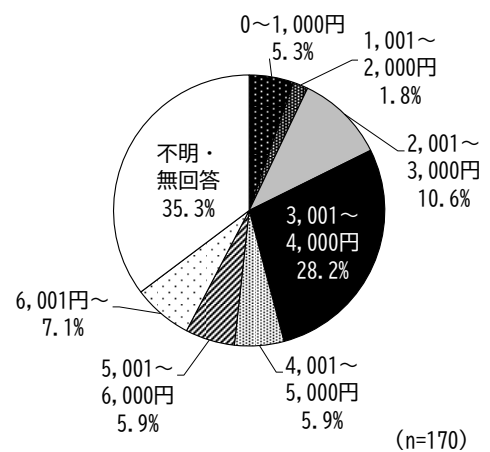
- ・「3,001～4,000円」 28.2%
- ・「2,001～3,000円」 10.6%
- ・「6,000円以上」 7.1%

※一団体あたりの平均額は 5,244円

【以下の回答は、金額が明確ではないため、「不明」とした】

- (1) 会費に最低額と最高額がある場合（●●円～▲▲円）
- (2) 会費の最高額が未確定の場合（●●円以上）
- (3) 個別のケースについて記入の場合（住宅●●円、店舗▲▲円など）
- (4) 年間の総金額を記入していると思われるもの（100万円以上）
- (5) 「一定でない」などの回答。

⇒ 回答が「不明」または無回答の団体数：60団体（170団体中）



Q4 貴町会・自治会の活動についてお伺いします。

①新型コロナウイルスの影響により行った対応

《中止》

- ・「町内の親睦のための各種活動」 80.6%
- ・「祭りなどの文化行事」 71.2%
- ・「他町会等との交流を図る活動」 62.9%(同率)
- ・「子どもを対象とした活動」 62.9%(同率)

《縮小して実施》

- ・「防犯活動・見守り活動」 61.8%
- ・「防災活動」 54.1%
- ・「交通安全推進運動」 44.7%

《通常通り実施》

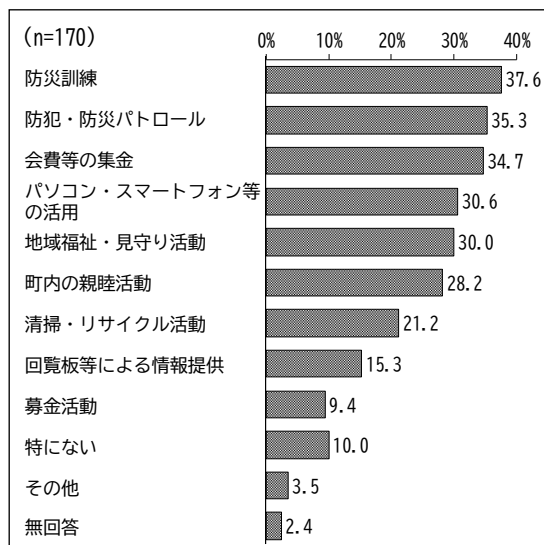
- ・「環境美化活動」 32.4%
- ・「町会・自治会内トラブルの調整」 31.8%
- ・「地域福祉活動」 21.8%(同率)
- ・「地域財産や建物などの共同管理」 21.8%(同率)

②活動を行う中での新型コロナウイルス感染対策

- ・「マスクの着用」 97.6%
- ・「窓やドア等開放による換気」 85.9%
- ・「手洗いの徹底」 81.8%

③このまま役員の高齢化が進むと実施が困難であると思われる活動

- ・「防災訓練」 37.6%
- ・「防犯・防災パトロール」 35.3%
- ・「会費等の集金」 34.7%



Q5 貴町会等の活動の中では、男女を問わず 20 歳代から 50 歳代程度までの若手人材が参加していますか。

- ・「機会があれば積極的に協力してもらっている」 35.9%
- ・「既に役員等の役割を担っている」 33.5%
- ・「現在はないが、今後は協力関係を築きたい」 18.8%

Q6 地域の他の組織や団体との協力関係についてお伺いします。

①協力関係のある組織・団体

- ・「小中学校・PTA」 90.0%
- ・「消防団」 68.2%
- ・「社会福祉協議会」 65.3%

【参考】

- ・「老人会（町会等と独立した）」 63.5 %
- ・「子ども会（町会等と独立した）」 51.2 %

②今後協力を密にしたい組織・団体	
・「小中学校・PTA」	50.6%
・「マンション管理組合・不動産業者」	41.2%
・「消防団」	40.0%

Q7 認可地縁団体についてお伺いします。

①今後、認可地縁団体となる予定の有無	
・「予定なし（「わからない」含む）」	55.3%
・「すでになっている」	37.1%
・「予定あり」	4.1%

②認可地縁団体の認可を受けようとする目的【①で「予定あり」の7団体のみ回答】	
・「不動産を団体名義で登記するため」	85.7%
・「不動産以外の財産を団体名義で登録等するため」	14.3%(同率)
・「町会・自治会活動における契約締結や口座開設など、団体名義とした方が適切であるため」	14.3%(同率)

③認可地縁団体化を考えていない理由【①で「予定なし（「わからない」含む）」の94団体のみ回答】	
・「会館等の不動産を所有していないため」	50.0%(同率)
・「必要性を感じないため」	50.0%(同率)
・「手続き等を行う人材がないため」	13.8%

Q8 貴町会・自治会の活動をどのような方法で情報発信していますか。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「回覧板、掲示板を活用している」 91.2%</li> <li>・「定期的に広報誌を発行している」 42.4%</li> <li>・「チラシ・ポスターを作成している」 37.6%</li> </ul>	<table border="1"> <caption>(n=170)</caption> <thead> <tr> <th>情報発信方法</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回覧板、掲示板を活用している</td> <td>91.2</td> </tr> <tr> <td>定期的な広報誌を発行している</td> <td>42.4</td> </tr> <tr> <td>チラシ・ポスターを作成している</td> <td>37.6</td> </tr> <tr> <td>町会会館や集会施設等で広報誌やチラシ等を掲示している</td> <td>28.2</td> </tr> <tr> <td>ホームページやSNS等の電子媒体で発信している</td> <td>17.6</td> </tr> <tr> <td>地元の企業や団体と連携して情報発信を行っている</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2.4</td> </tr> <tr> <td>特に行っていない</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>3.5</td> </tr> </tbody> </table>	情報発信方法	割合 (%)	回覧板、掲示板を活用している	91.2	定期的な広報誌を発行している	42.4	チラシ・ポスターを作成している	37.6	町会会館や集会施設等で広報誌やチラシ等を掲示している	28.2	ホームページやSNS等の電子媒体で発信している	17.6	地元の企業や団体と連携して情報発信を行っている	3.5	その他	2.4	特に行っていない	0.6	無回答	3.5
情報発信方法	割合 (%)																				
回覧板、掲示板を活用している	91.2																				
定期的な広報誌を発行している	42.4																				
チラシ・ポスターを作成している	37.6																				
町会会館や集会施設等で広報誌やチラシ等を掲示している	28.2																				
ホームページやSNS等の電子媒体で発信している	17.6																				
地元の企業や団体と連携して情報発信を行っている	3.5																				
その他	2.4																				
特に行っていない	0.6																				
無回答	3.5																				

※紙媒体による発信が主体となっており、「ホームページやSNS等の電子媒体で発信している」は17.6%と2割を下回った。

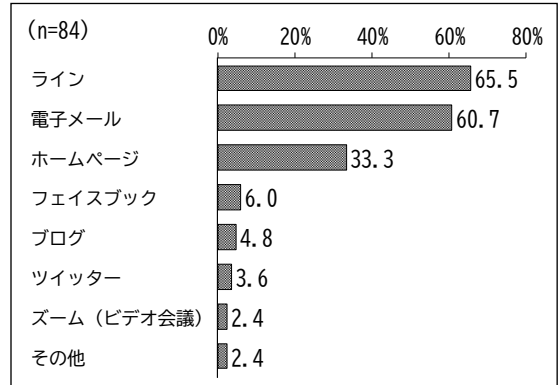
Q9 デジタル化について伺います。

①普段利用している情報通信機器等の利用状況	
《現在利用している》	
・「スマートフォン」	62.9%
・「固定電話」	61.8%
・「携帯電話（スマートフォン除く）」	55.9%
《現在利用していないが、将来的には利用したい》	
・「wi-fi（ワイファイ）接続環境」	25.9%
・「タブレット」	25.3%
・「パソコン」	17.1%

②デジタルツールの利用有無	
・「利用している」	49.4%
・「利用していない」	48.8%
※「利用している」と「利用していない」がほぼ半々であった。	

③ 普段利用しているデジタルツール【②で「利用している」の84団体のみ回答】

- ・「ライン」 65.5%
- ・「電子メール」 60.7%
- ・「ホームページ」 33.3%



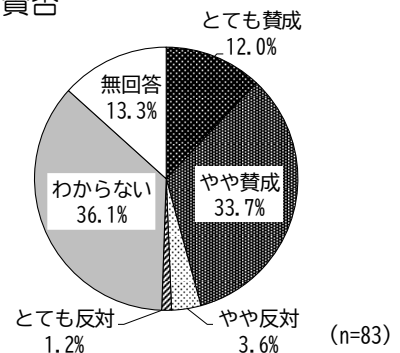
④ デジタルツールを活用していない理由【②で「利用していない」の83団体のみ回答】

- ・「デジタルツールの利用方法・操作方法が難しい、または活用できる人材がいない」 56.6%
- ・「デジタルツールを使える人と使えない人との両方の対応が必要となり、事務の負担が余計に増えることが懸念される」 55.4%
- ・「デジタルツール関連の機器を所有していない」 45.8%

⑤ 今後、デジタルツールを積極的に活用していくことについての賛否

【②で「利用していない」の83団体のみ回答】

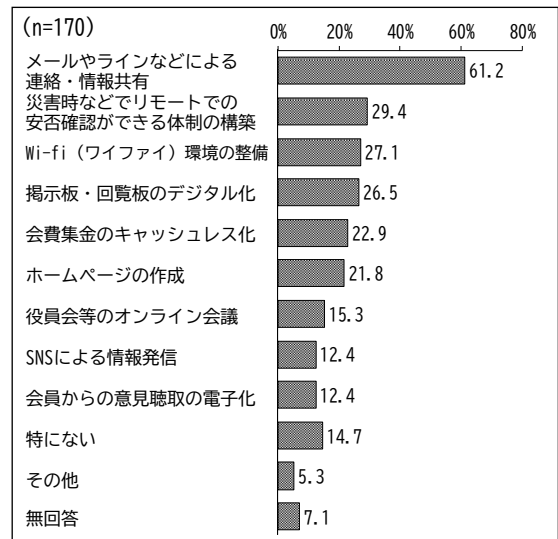
- ・「わからない」 36.1%
- ・「やや賛成」 33.7%
- ・「とても賛成」 12.0%



※【賛成】（「とても賛成」と「やや賛成」の合計）は45.7%であった。【反対】（「やや反対」と「とても反対」の合計）は4.8%と少ないが、一方で「わからない」が36.1%と3分の1強を占めている。

⑥ 今後、デジタルツールを活用して取り組んでみたいと思うもの

- ・「メールやラインなどによる連絡・情報共有」 61.2%
- ・「災害時などでリモートでの安否確認ができる体制の構築」 29.4%
- ・「Wi-fi (ワイファイ) 環境の整備」 27.1%



⑦ デジタル化の推進にあたり、必要と考える支援

- ・「デジタル機器購入やインターネット回線等維持管理に関する経費の補助」 55.9%
- ・「区主催のデジタル関連講習会等の開催」 38.2%
- ・「町会・自治会が主催する会員向け講習会等の実施に係る経費」 35.3%

■ 貴町会・自治会の「加入促進活動」について ■

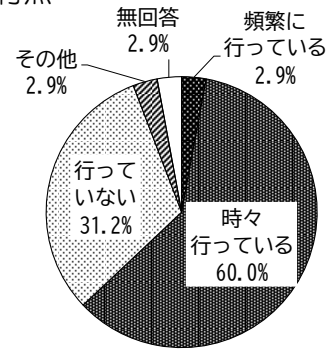
Q10 町会・自治会未加入者への加入呼びかけは行っていますか。

- ・「マンションの管理会社や管理者、不動産業者を通して勧誘している」 55.9%
- ・「直接訪問して勧誘している」 54.7%
- ・「お祭りやイベントの時に広報誌・パンフレットなどを配布している」 28.8%

Q11 貴町会・自治会に新たに加入した方々に対するその後の対応についてお伺いします。

①新たに加入した方々が、地域にうまく溶け込むための工夫の有無

- ・「時々行っている」 60.0%
- ・「行っていない」 31.2%
- ・「頻繁に行っている」 2.9%(同率)
- ・「その他」 2.9%(同率)



※「頻繁に行っている」と「時々行っている」の合計は 62.9%

②新規会員に対し、行っていること【①で「頻繁に行っている」・「時々行っている」の107団体のみ回答】

- ・「祭礼やイベント等がある場合に参加の声掛けをしている」 87.9%
- ・「役員等が会員宅付近や路上等で日常的に声掛けをしている」 40.2%
- ・「交流や対話の場を定期的に設け、参加してもらっている」 15.9%

③新規会員に対し、具体的な対応を行っていない理由【①で「行っていない」の53団体のみ回答】

- ・「新規会員が役員等との交流までは望んでいない」 39.6%
- ・「必要性を感じていないため」 35.8%
- ・「訪問しても不在のことが多い」 32.1%

Q12 加入を断られた際の理由として、多いものは何ですか。

- ・「町会・自治会活動に関心がないから」 52.4%
- ・「仕事などで忙しく、活動に参加できないから」 45.3%
- ・「何をしているのかわからない、加入メリットがわからないから」 37.6%

Q13 若年層（20～50代）の未加入者に対し、どのようなことが必要だと考えますか。

- ・「町会・自治会の活動内容や意義を理解してもらう」 62.9%
- ・「活動の中で若年層が活躍できる場を提供する」 43.5%
- ・「親しい近隣を通じて加入を働きかける」 39.4%

Q14 加入者の退会についてお伺いします。

①加入者の退会件数

- ・「あまりない（1年間に1世帯未満）」 51.2%
- ・「1年間に1～19世帯程度」 31.2%
- ・「わからない」 8.2%

②加入者が退会する理由【①で「1年間に20世帯以上」・「1年間に1～19世帯程度」の58団体のみ回答】

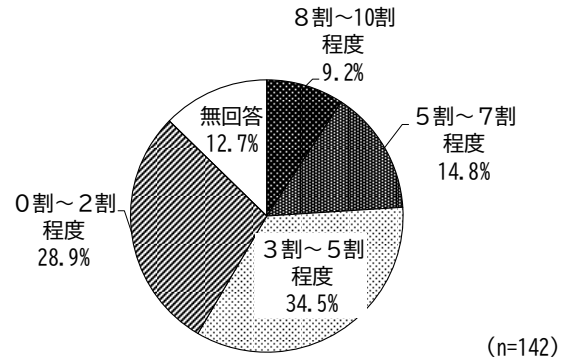
- ・「区域外への転出」 84.5%
- ・「加入者の死亡」 74.1%
- ・「町会・自治会活動のメリットが感じられない」 17.2%

Q15 集合住宅の加入促進に関することについて伺います。【町会（142団体）のみ回答】

①全会員に対する集合住宅入居者の会員の割合

- ・「3割～5割程度」 34.5%
- ・「0割～2割程度」 28.9%
- ・「5割～7割程度」 14.8%

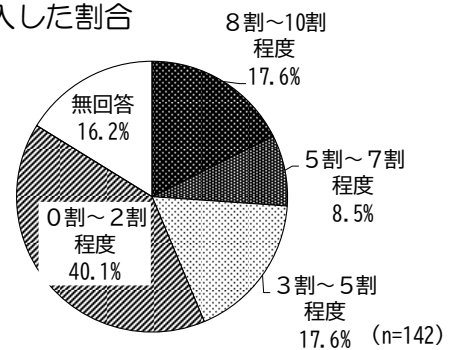
※「5割～10割」と回答した団体は23.9%



②過去3年間に新築で建設された集合住宅に対し、町会に加入した割合

- ・「0割～2割程度」 40.1%
- ・「8割～10割程度」「3割～5割程度」 17.6%(同率)

※「0割～5割」と回答した団体は57.7%



③集合住宅居住者で個々に加入している会員の有無

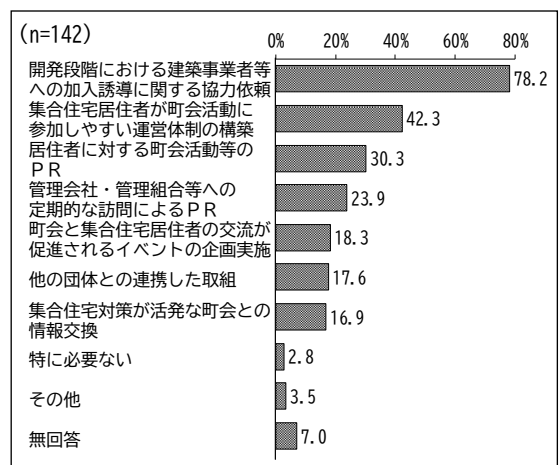
- ・「いる」 57.0%
- ・「いない」 33.1%

④集合住宅の加入促進に関し、事業者（ディベロッパー、管理会社等）に対して働きかけていること

- ・「集合住宅全体での町会加入（会費の一括徴収）」 80.3%
- ・「共用掲示板による町会イベント等のチラシやポスター等の掲示」 58.5%
- ・「会費を一括徴収する場合の割引」 33.1%

⑤集合住宅における加入促進対策として必要だと思うこと

- ・「開発段階における建築事業者等への加入誘導に関する協力依頼」 78.2%
- ・「集合住宅居住者が町会活動に参加しやすい運営体制の構築」 42.3%
- ・「居住者に対する町会活動等のPR」 30.3%



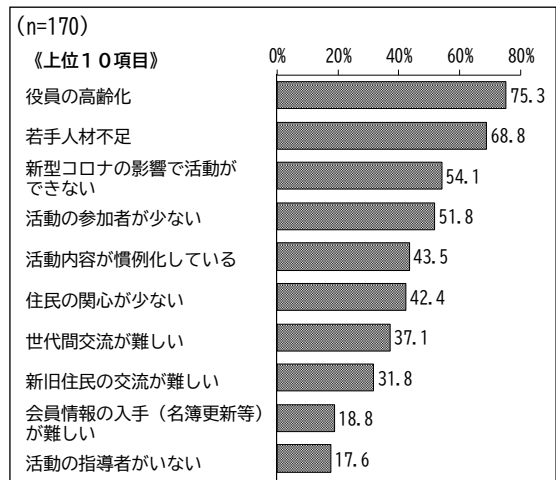


■貴町会・自治会の「運営に関する課題」について■

Q16 貴町会・自治会の運営に関する課題にはどのようなものがありますか。

- ・「役員の高齢化」 75.3%
- ・「若手人材不足」 68.8%
- ・「新型コロナの影響で活動ができない」 54.1%

※役員等の新旧交替が進んでいない状況を挙げる団体が多く（上位2項目）、その状況が「活動の参加者が少ない」、「活動内容が慣例化している」、「住民の関心が少ない」といった住民の関心の低さや運営の硬直化を招いていることがうかがえる。



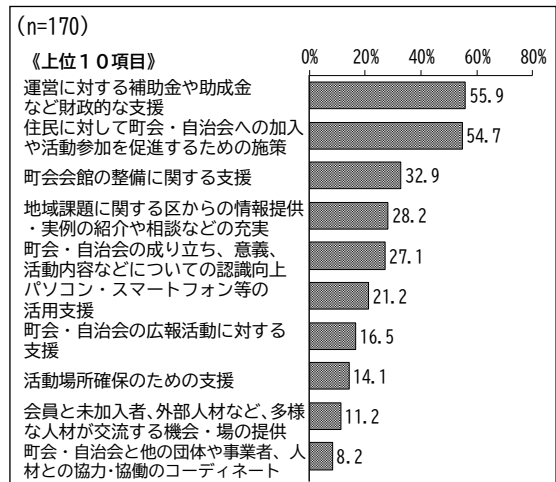
（別表「選択肢に対する自由意見（Q16）」参照）

■貴町会・自治会の「行政との協働」について■

Q17 貴町会・自治会が行政に実施してもらいたい支援や協力は何か。

- ・「運営に対する補助金や助成金など財政的な支援」 55.9%
- ・「住民に対して町会・自治会への加入や活動参加を促進するための施策」 54.7%
- ・「町会会館の整備に関する支援（会館建設・改修、用地購入等の資金助成、相談等）」 32.9%

※上位に挙げた財政面の支援に対し、「会員と未加入者、外部人材など、多様な人材が交流する機会・場の提供」、「町会・自治会と他の団体や事業者、人材との協力・協働のコーディネート」といったソフト面の支援への希望は相対的に少ない。



（別表「選択肢に対する自由意見（Q17）」参照）

Q18 特にコロナ禍において、貴町会・自治会が行政に実施してもらいたい支援や協力は何か。

- ・「区から提供する行政情報の回覧物の軽減」 55.9%
- ・「町会内で感染者が発生した場合等の対応の提示」 54.7%
- ・「地域の感染状況の情報開示」 32.9%

（別表「選択肢に対する自由意見（Q18）」参照）

Q19 行政が実施している支援制度についてお伺いします。

①過去に活用した支援制度

- ・「各種防災関係助成金・補助金」 90.0%
- ・「コミュニティ掲示板助成金」 72.4%
- ・「新型コロナウイルス感染拡大防止普及啓発事業助成金」 53.5%

②活用した支援制度の満足度【①で「活用した」の支援制度について回答】

(割合はそれぞれの制度を活用した団体数ベース)

- ・「認可地縁団体等への登記料助成金」 88.5% (活用団体数 26)
- ・「各種防災関係助成金・補助金」 81.7% (活用団体数 153)
- ・「新型コロナウイルス感染拡大防止普及啓発事業助成金」 81.3% (活用団体数 91)

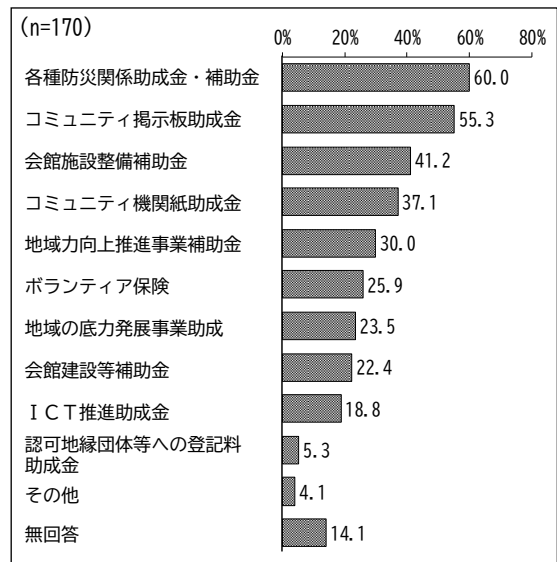
※満足度(「非常に満足」と「やや満足」の合計)は、ほとんどの支援制度について7割以上となっている。

③使用した支援制度の不満な点【②で「やや不満」「非常に不満」の支援制度について回答】

- ・主に「助成金額・補助金額が少ない」や「提出書類が多く不便である」点が挙げられた。

Q20 貴町会・自治会が今後活用したい、墨田区や東京都などの行政が実施している支援制度は何ですか。

- ・「各種防災関係助成金・補助金」 60.0%
- ・「コミュニティ掲示板助成金」 55.3%
- ・「会館施設整備補助金」 41.2%



**【表】 Q16・Q17・Q18 選択肢に対する自由意見（主な意見抜粋）**

- ・書面による回答と聞き取りの内容を選択肢ごとに分類し、集計した。なお、一つの回答が複数の内容に渡る場合は複数回答としてそれぞれの項目へ分類している。
- ・本表では自由意見の回答件数が多い選択肢から順に掲載していること等から、選択回答のアンケートと掲載順が異なる。

<b>Q16 貴町会・自治会の運営に関する課題にはどのようなものがありますか。</b>
<b>役員の高齢化（47件）</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・役員の高齢化、なり手不足</li><li>・役員は若くて60歳、上は80歳。町会に若い人はいるが、加入しているだけで活動はしてくれない。</li><li>・役員が高齢者ばかりで今後の活動が不安である。</li></ul>
<b>新型コロナの影響で活動ができない（40件）</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・2年連続で祭りが中止になったのは残念だった。交流できる機会が減ってしまった。</li><li>・行事の開催について、まだ早いという意見があり、役員も他の住民から説明を求められたり、責められたりしてしまう。</li><li>・コロナの影響で役員会すら開催できていない状況である。</li><li>・新型コロナウイルスの影響で、防災訓練が例年のように実施できないのが悩みである。</li><li>・イベントや会合などの町会活動に関する新型コロナウイルスへの対応について、今年は実施しているが判断に迷う。</li><li>・感染予防対策を講じ、小規模な地域活動の実践を試みたが、「コロナ感染の危惧からやめてほしい」との苦情が区に入り、何も出来なかった。</li><li>・コロナ禍で例会や飲み会も行われないため、本音を聞ける機会がなくなった。</li></ul>
<b>活動の参加者が少ない（23件）</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・近年におけるマンション等の会員加入数は多いが、行事への参加者はほとんどいない。</li><li>・自営業が減って、サラリーマンが増えて町会活動を難しくしている。</li><li>・行事を実施しても参加者が少なく、役員だけでやっている感じがある。</li><li>・若い人は仕事優先で協力が難しい。特に集合住宅（ワンルーム）の方は参加しない。</li><li>・女性の活動への参加が少ない。</li><li>・交流会で参加者が少ない、特に若い人、家族単位での参加がない。</li></ul>
<b>若手人材不足（23件）</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・若手が少なく、祭りが盛り上がらない。</li><li>・何か若年層（40代）が活躍出来る場がほしい。</li><li>・若手について、町会活動の手伝い、応援はしてもらえるが、役員にはなってくれない。</li><li>・若年層や後継者もおらず、このままでは町会の存続が危ぶまれる。</li><li>・若い方は昼間に仕事をしている。日中は時間が取れず、町会活動ができない。</li></ul>
<b>住民の関心が少ない（9件）</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・若い人たちは町会への関心がない。</li><li>・町会入会は、通常時であればメリットはあまりないかもしれないが、もしもの時に協力や助け合いがあることを説明しているが、なかなか理解してもらえないことが多い。</li><li>・町会・自治会に対する関心があまりない。何のために自治会・町会があるのかわからない人が多い。</li></ul>
<b>予算が不足している（9件）</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・新しいことをやりたいが、予算がない。</li><li>・予算内で活動しているが、厳しい時もある。</li><li>・集合住宅もあり、町会費の集金に苦労している。町会費支払いだけでも条例で義務化できないか。</li></ul>

- 予算がほとんどなく、やりたい事が出来ない。
- 新規の住民に関して、町会費の徴収が難しい。なかなか払ってくれない。

#### 未加入世帯が多い（8件）

- 未加入が増えている。単身のため、高齢のため、年金生活のため、親がやめるので、等の理由で町会をやめる。地縁やお隣との関わり合いが薄れている。
- お祭りをきっかけに若い世帯が入会してくれていたが、お祭りが全くできず新規入会が期待できない。
- 地域にマンションが建設されているが賃貸が多く、新規に加入してくる町会員もいない。
- 加入率が少なく、未加入者に聞くとメリットが無いと言われている。

#### 新旧住民の交流が難しい（6件）

- 地域の人が増えてきていると思うが、昔から住んでいる人が少なくなっており、コミュニケーションが取れない。どうすればよいかわからない。
- 旧住民（店舗兼住居、一戸建て住宅）と新住民（賃貸集合住宅）の交流がない。

#### 外国人住民との交流が難しい（6件）

- 外国人から接触する気がない。
- 外国人が増えてきて、文化の違いから町会への加入を拒まれる。
- 一部の外国人住民は注意してもごみ捨てのルールを守らない。

#### 会員情報の入手（名簿更新等）が難しい（5件）

- 個人情報保護との関係について、行政機関からの指導等が必要。
- マンションが建設され町会の構成員が変わってきたが、個人情報の関係で誰が住んでいるのか分からない。
- 個人情報の問題があるので難しいと思うが、75歳以上の独り暮らしの名簿があると良い。町会でも把握に努めているが十分ではない。
- 個人情報の観点から、町会名簿も作っておらず、節目の祝いもできない。

#### 活動内容が慣例化している（4件）

- 活動が慣例化している。

#### 活動のPRが不足している（4件）

- 回覧板を回しても読まれない。
- SNS 発信にしても得意な方はいるだろうが、誰がそれを見るのか不確実であり、効果に疑問。
- 活動を広く伝えることが上手くできていない。
- 若手がいれば機関紙などもパソコンで作成するなど効率化が図れるが人材不足である。

#### 世代間交流が難しい（3件）

- 役員が高齢化し、世代間の交流が難しい。
- 若い人との関係を持つことが難しい。子どもも少ない。高齢化で町会行事に参加できなくなっている。

#### 他の組織・人材との連携が弱い（3件）

- 婦人部の活動が活発である。役員に女性を積極的に充てていきたい。
- 高齢者の見守り活動を引き続き高齢者支援総合センターと一緒に実施していきたい。

<p><b>活動の指導者がいない（2件）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町会行事等の担い手の不足（若手世代は、仕事で忙しい）。</li> </ul>
<p><b>活動や会議をする場所が少ない（2件）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元で集合場所がない。</li> </ul>
<p><b>他の地域との連携が弱い（1件）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町会の存続が心配。周辺町会に合併の話をした。</li> </ul>
<p><b>活動のための情報が不足している（1件）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の参加者が少なく、どのような活動をすれば良いかわからない。</li> </ul>
<p><b>町会・自治会単体での活動継続が難しい（1件）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町会の単位が小さいため、今後存続が厳しくなるのではないかと。</li> </ul>
<p><b>その他</b></p> <p>集合住宅の加入促進等について（25件）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マンションが建つ前に、管理組合への働きかけを区が行ってほしい。</li> <li>・新規マンションに対する町会加入（町会費）の有効策が一向になく、町会活動もいよいよ曲がり角に来ている。</li> <li>・管理会社から町会費が高いと言われ、安くするか、マンション全体でいくらとするか、理事会で議論している。</li> </ul> <p>役員のなり手がいない（11件）</p> <p>回覧・掲示物が多すぎる（4件）</p>

<p><b>Q17 貴町会・自治会が行政に実施してもらいたい支援や協力は何か。</b></p>
<p><b>町会・自治会の広報活動に対する支援（19件）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・送付されるパンフレットや掲示物が多すぎる。もっと厳選して少なくしてもらえないか。</li> <li>・役所からの回覧物が多い。少なくできないのか。</li> <li>・町会の広報活動支援のため、区HPに町会の掲示板を作成してほしい。</li> <li>・情報発信の仕方をアドバイスしてほしい。掲示板のお知らせを張っているだけではなかなか興味を持ってもらえない。だからと言って、SNSなど手段もハードルが高い。</li> </ul>
<p><b>町会会館の整備に関する支援（会館建設・改修、用地購入等の資金助成、相談等）（15件）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町会会館がないため、何らかの活動場所の提供につながる支援があるとありがたい。</li> <li>・町会会館の備品修繕費、補助サイクルの短縮（緊急的に対応しなければならない場合有）。</li> <li>・用地購入等の資金助成の金額を増やしてほしい。</li> </ul>
<p><b>住民に対して町会・自治会への加入や活動参加を促進するための施策（15件）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新築の賃貸マンションに、以前区が作成した町会加入促進のパンフレットを配布したが効果はなかった。他の方法はないか。</li> <li>・会員加入促進のリーフレットは大変役に立った（転入者の加入に繋がった例あり）。</li> <li>・若い人たちが町会活動に興味を持ってくれるような工夫をアドバイスしてほしい。</li> </ul>
<p><b>パソコン・スマートフォン等の活用支援（11件）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者はスマホの扱いが苦手なため、スマホの操作についての支援が欲しい。</li> <li>・PCやスマートフォンなどデジタル対応への支援をお願いしたい。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>• PCなどは使える人が限られている。行政で講習会を開催してもらっても、そもそも参加しようとするしない。</li> </ul>
<p><b>運営に対する補助金や助成金など財政的な支援（9件）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 補助金・助成金を増やしてほしい。今以上に様々なイベントなどを考えられる。</li> <li>• Wi-Fiを設置したい。今は個人が作成したものを印刷してもらっている。パソコンを購入して、町会の資料をデータで残したい。購入費の助成があると良い。</li> </ul>
<p><b>活動場所確保のための支援（8件）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 活動場所がないので提供してもらいたい。</li> <li>• 20人程度集まれる場所がない。近所で集会ができるある程度広い場所を紹介してほしい。</li> </ul>
<p><b>町会・自治会の成り立ち、意義、活動内容などについての認識向上（7件）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 災害時の協力体制や子ども会の活動など町会の意義についてもっと積極的にPRしてほしい。</li> <li>• 町会の意義、活動内容などの認識向上に関して、町会加入のメリットを伝えてほしい。</li> </ul>
<p><b>町会・自治会の認可地縁団体化（法人化）の支援（6件）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 法人化に向けて、「過半数の承認」が困難なため、要件を緩和してほしい。</li> <li>• 近隣町会の法人化が進んでいる様子であるが、役員の多くは必要性を認識していないので、啓発等の支援も必要である。</li> <li>• 法人化するリスクはあるのか？が良くわからない。</li> </ul>
<p><b>地域課題に関する区からの情報提供・実例の紹介や相談などの充実（4件）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 他の町会がどのような活動を行っているか良い取り組みは紹介してほしい。</li> <li>• 区から他の町会・自治会の取り組み事例について情報提供を受けるが、町会内で協力体制を構築することができない。</li> </ul>
<p><b>町会・自治会と他の団体や事業者、人材との協力・協働のコーディネート（2件）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自治会運営が高齢化や人材不足になった時の町会連携や合併調整役、指導役を行政の名があればよりスムーズになるかなと考えています。</li> </ul>
<p><b>会員と未加入者、外部人材など、多様な人材が交流する機会・場の提供（1件）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 会員と未加入者、外部人材など、多様な人材が交流する機会・場の提供</li> </ul>
<p><b>その他</b></p> <p>防災関係の支援（10件）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 役員対象の防災講習会でなく、一般会員を対象にした体験等の講習会を開いて、災害の恐ろしさや対応準備等について説明願いたい。町会役員からの説明では理解が得られない。</li> <li>• 防災訓練の予算がもう少し多ければいいと思う。いろいろなことができるから。</li> </ul> <p>集合住宅の加入促進に対する支援（9件）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• マンション建設に際して業者が区に建築申請する時点で覚書等を町会と交わすよう指導してほしい。</li> <li>• ワンルームマンション対策をもっと強制的に行ってほしい（条例、義務化など）。</li> <li>• マンション建設や建物の新築の際に、建主などに町会加入を促す際、区と町会が連携して加入に向けて説得をして欲しい。</li> </ul> <p>助成金等の手続きについて（5件）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 助成をする際の手続きを簡素化して欲しい。</li> <li>• 各種補助金について手続きが良くわからない。</li> </ul>

<p><b>Q18 特にコロナ禍において、貴町会・自治会が行政に実施してもらいたい支援や協力は何ですか。</b></p>
<p><b>地域の感染状況の情報開示（34件）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 地域の感染状況の開示をしてもらいたいと思っていたが、反面、犯人捜しに繋がったり、差別を助長してしまうかもしれない。情報の取り扱いは難しいと思う。</li> <li>• 地域の感染状況の情報については、なるべく地域を絞って開示してほしい。</li> <li>• 個人が特定できない範囲で、町会内の感染状況を知らせてほしい。</li> <li>• 地域での感染状況を教えてほしい。墨田全域での状況だけでは、対応のしようがない。せめて町単位での情報が欲しい。</li> </ul>
<p><b>区から提供する行政情報の回覧物の軽減（26件）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 情報としては必要だろうが、行政からの回覧物が多すぎる。</li> <li>• 区からの提供する行政情報の回覧物が役員の負担となることから、軽減または合理化してほしい。</li> <li>• 回覧物については、送付される時期及び掲示期間がまちまちなので、管理が大変である。送付回数や送付物を集約して、多くても月2回程度にしてくれると助かる。また、掲示板が小さいので更新時に掲示板を大きくするような対応をしてほしい。</li> </ul>
<p><b>町会内で感染者が発生した場合等の対応の提示（12件）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 町会内で感染者が出た場合に、町会に対する一定の情報があると良い。また、町会のとるべき対応についての情報が欲しい。</li> <li>• できることは限られるが、感染症対策での町会の役割を提示してほしい。</li> </ul>
<p><b>感染予防対策の経費支援（12件）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 感染予防対策として、マスク、消毒液等を配布しており、経費支援をお願いしたい。</li> <li>• 感染症対策の経費支援は必要と考えるが、町会によって規模が異なるので、配慮が必要。</li> </ul>
<p><b>会議や活動などの開催時の対応マニュアルの提示（4件）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 町会のマニュアルがない。具体的な安全策や基準を提示して欲しい。</li> <li>• コロナ禍における町会役員会等の会議開催に際しての注意事項を記載した回覧。</li> </ul>
<p><b>オンライン会議等 ICT 化に向けた講習会（3件）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 会議に出向かなくて済む。パソコンがあると、一斉メールが送れる。避難等の連絡も瞬時に伝わる。個人のパソコンに頼るのではなく、町会でだれでも使えるようにしたい。</li> <li>• オンライン化といっても、65歳を過ぎて自分で学ぼうとはなかなか思わない。</li> </ul>
<p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 区の対応が良かった・不満はない。</li> <li>• 国、都ではなく、区レベルでのワクチンパスポートの有効活用。</li> <li>• マスク等の配布があったが、町会全体に配布するのかがはっきりしないため、混乱した。</li> <li>• スマホも PC も使えない高齢者にとっては情報の入手ができない。情報の提供方法を工夫していただきたい。</li> </ul>

### Ⅲ まとめ ～今後の方向性～

本調査の結果から問題点・課題を抽出し、〈町会・自治会における団体運営上の課題〉〈住民（会員・非会員）視点からの課題〉〈社会動向における課題〉の3つの分野に分類したうえで、それぞれにおいて求められる対応を整理した。また、最後に今後の方向性としてまとめを行った。

#### 1 各分野の問題点・課題において求められる対応

調査結果のなかで回答選択肢として相対的比率の高かったものを中心に、コロナ禍における現状や課題に関するものなど、速やかな対応が求められると考えられる課題を分類、整理した。

調査結果全体からは、3年前に実施した全町会・自治会実態調査における課題として認識した施設整備等支援（ハード支援）、運営支援（ソフト支援）、加入促進（情報支援）に係る課題は現状においても確認できるところであるが、その点においてはこの間実施してきた新たな施策等を引き続き展開していくものであり、今回は特に近年の町会・自治会を取り巻く課題（デジタル化や集合住宅、コロナ禍における活動など）に重きをおいた調査結果を踏まえ、次の3つの視点から今後必要な支援や協力を整理した。

	問題点・課題	求められる対応
〈町会・自治会における団体運営上の課題〉	役員の負担の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルツール活用による作業の効率化</li> <li>回覧・掲示物の内容を精査し、負担を軽減</li> </ul>
	後任役員の確保が困難 役員の高齢化 女性役員の不足 若手人材不足 活動自体が困難になることに対する懸念	<ul style="list-style-type: none"> <li>特に若年層へ向けた情報発信（活動に関する広報、町会・自治会の意義を理解してもらう）</li> <li>加入促進のためのリーフレットやポスター作成</li> </ul>
	活動のデジタル化 活動の停滞・マンネリ化 活動予算の不足	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル化関連講習会等の実施</li> <li>住民の関心をひきつける活動のアイデアの提供</li> <li>助成金・補助金の拡充</li> </ul>



	問題点・課題	求められる対応
^住民(会員・非会員) 視点からの課題▽	加入率の低下	<ul style="list-style-type: none"> <li>加入促進のためのリーフレットやポスター作成</li> <li>住民に向けた情報発信（活動に関する広報、町会・自治会の意義を理解してもらう）</li> </ul>
	住民の関心の低さ 加入メリットが理解されない 町会・自治会の意義の認識の低さ	
	情報不足 活動参加者の減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>効果的な広報ノウハウの提供</li> <li>住民の関心をひきつける活動のアイデアの提供</li> </ul>

	問題点・課題	求められる対応
^社会動向における課題▽	新型コロナの影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルツールを利用した非対面コミュニケーションの実施</li> </ul>
	ライフスタイル・価値観の変化 増加著しい集合住宅への対応 近所付き合いの希薄化	<ul style="list-style-type: none"> <li>集合住宅開発段階における事業者との協力</li> <li>加入促進のためのリーフレットやポスター作成</li> <li>住民に向けた情報発信（活動に関する広報、町会・自治会の意義を理解してもらう）</li> </ul>
	「顔の見えない住民」の増加	

## 2 今後の方向性

上記「1 各分野の問題点・課題において求められる対応」における課題、支援は個別の事象を示しているが、それぞれが独立して存在しているのではなく、相互の関連性から状況が深刻化している状況が懸念される。

改めて俯瞰的視点から効果的に施策を展開するため、次の 2 点からの今後の取組を進めていく必要があると捉え整理した。

### (1) 情報の発信・共有

- ① 機関誌の発行と充実
  - ・機関紙の魅力向上に係る講座の実施
  - ・機関紙の PR 展示
  - ・デジタルツールを活用した機関紙の配布
- ② デジタルツールを活用した活動活性化への支援
  - ・デジタルツールの使い方に関する講座の実施（メールやラインによる連絡・情報共有）
  - ・他町会・自治会の好事例の紹介（情報交換会の開催）
  - ・区政情報（コミュニティ FAX によるもの）のメールによる情報発信の取組強化

### (2) 加入促進

- ① 集合住宅開発段階における建築事業者との事前協議等の改善
  - ・墨田区集合住宅条例に伴う加入誘導の整備
- ② 加入促進のためのツール作成
  - ・加入促進リーフレットによる周知
  - ・加入促進マニュアルの作成
  - ・効果的な情報発信の支援